



米国取材報告：日本のコンテンツ人気を実感

筆者は、9月7～11日の日程で米国のニューヨーク（以下、NY）を訪問し、現地の物価動向に関する実地調査と、現地金融機関へのヒアリングを実施しました。実地調査を通じて、日本のアニメキャラクターやゲームの人気を肌で感じました。そこで本稿では、まず現地で見つけた日本のコンテンツについて報告します。そのうえで、コンテンツ分野における海外展開の状況についてまとめます。

□ 実地調査報告：NYで見つけた日本のアニメ・ゲーム

図表1は、現地で確認できた日本のコンテンツ作品の一覧です。スーパーマリオやポケモンなど、日本でもなじみ深いキャラクターをNYの街のあちこちで目にしました。例えば、NY中心部のタイムズスクエア周辺では、複数のお土産店の店頭で『ワンピース』や『ドラゴンボール』のキャラクターフィギュアが目立つように並べられていました。

また、日本のキャラクターとのコラボレーション商品も多く見られました。ユニクロでは、『スパイファミリー』や『ちいかわ』などのキャラクターをプリントしたTシャツが店舗中央の目立つ売り場で販売されていました。レゴストアでも、ポケモンやマリオなど日本のコンテンツを題材にしたレゴ製品が数多く並んでいました。日本のキャラクターが、海外の消費者向け商品の集客力を高める存在として、他社ブランドとの協業にも幅広く使われていることがうかがえます。

さらに、任天堂の直営店では、Nintendo Switchなどのゲーム製品のほか、「Nintendo NY」とプリントされたTシャツなどのグッズが販売されていました。店内は多くの人でにぎわっており、現地での任天堂作品の人気の強さを肌で感じることができました。

図表1 現地で確認できた作品名・キャラクター

作品名	キャラクター	主な関連企業（上場企業）
スーパーマリオ	マリオ	任天堂
ポケモン	ピカチュウ	任天堂
ハローキティなど	キティちゃん／ポムポムプリン	サンリオ
ワンピース	ルフィ（実写版も）	東映アニメーション／バンダイナムコHD
ドラゴンボール	孫悟空	東映アニメーション／バンダイナムコHD
鬼滅の刃	胡蝶しのぶ	東宝／ソニーグループ
スパイファミリー	アーニャ	東宝／ソニーグループ
遊☆戯☆王	武藤遊戯	コナミグループ
ちいかわ	ちいかわ	東宝

※ 関連企業は、当該作品に関連する上場企業のみを記載。

□ コンテンツ産業の海外展開動向：すでに半導体越え、政府は一段と海外展開を強化へ

NY で体感した日本のコンテンツの人気は、統計でも確認できます。経済産業省の「エンタメ・クリエイティブ産業戦略 2026」によると、米国のコンテンツ市場規模は 84 兆円と、中国（42.5 兆円）や日本（14.9 兆円）を大きく上回る世界最大の市場です（図表 2）。

米国をはじめとする海外での人気を背景に、日本のコンテンツ産業の海外売上高は 2024 年に 6 兆円を超え、2015 年と比べて 3 倍以上に拡大しました（図表 3）。この急速な伸びにより、同年の海外売上高は半導体の輸出額をわずかに上回りました。

政府が 2026 年 7 月に閣議決定した「日本成長戦略」では、コンテンツ産業が重点的に投資を促す戦略 17 分野の一つに位置付けられました。これを受けて経済産業省がまとめた「エンタメ・クリエイティブ産業戦略 2026」では、コンテンツ産業の海外売上高を 2024 年の約 6.1 兆円から 2033 年に 20 兆円へ拡大する目標が掲げられています（図表 4）。その実現に向けて、政府は製作支援や人材育成、税制優遇に加え、作品を無断で複製・配信する「海賊版」への対策などを通じて企業の投資を後押しする方針です。これにより、コンテンツ関連の民間投資を 2024 年の 7.3 兆円から 2033 年に 24.5 兆円へと約 3 倍に拡大することを目指しています。とくにゲーム分野では、2024 年の 5.3 兆円から 19.0 兆円への拡大を目指しています。こうした政策の後押しも追い風となり、日本のコンテンツ産業は今後も成長が期待されます。

図表 2 主要国のコンテンツ市場規模

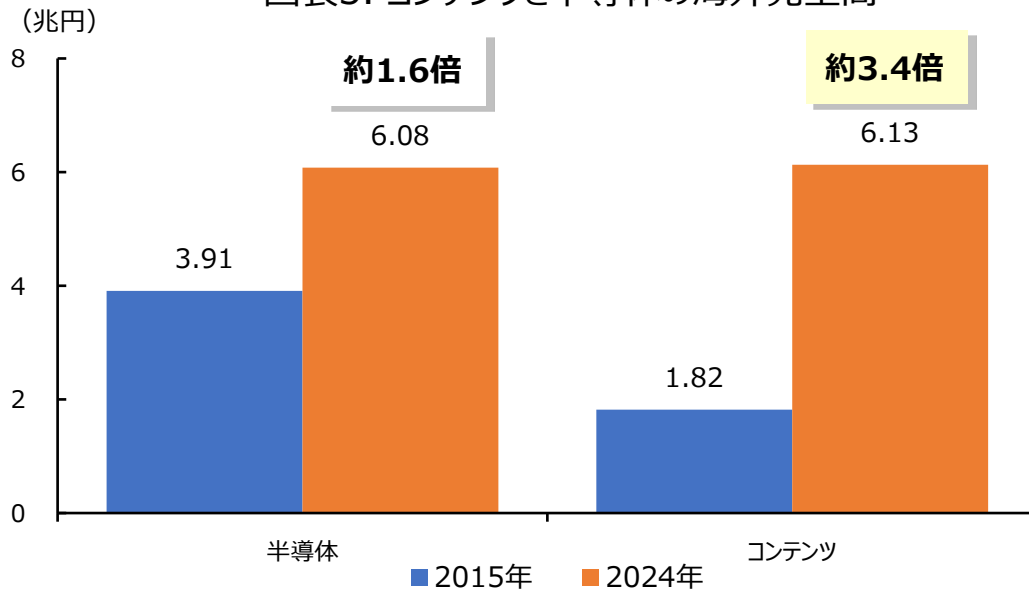
国	コンテンツ市場規模	対 GDP 比	1 人あたりコンテンツ支出	人口	GDP
米国	84.0 兆円	1.9%	24.7 万円	3.4 億人	4,395 兆円
中国	42.5 兆円	1.5%	3.0 万円	14.1 億人	2,822 兆円
日本	14.9 兆円	2.5%	12.4 万円	1.2 億人	606 兆円
フランス	5.0 兆円	1.0%	7.1 万円	0.7 億人	479 兆円
韓国	5.3 兆円	2.1%	10.6 万円	0.5 億人	258 兆円

（注）人口と GDP は 2024 年のデータ。韓国の GDP のみ 2023 年。

対 GDP 比＝コンテンツ市場規模÷GDP。1 人あたりコンテンツ支出＝コンテンツ市場規模÷人口。

（出所）経済産業省「エンタメ・クリエイティブ産業戦略 2026」のデータをもとに、しんきん投信作成

図表3. コンテンツと半導体の海外売上高



(注) 2015年と2024年の比較。経済産業省の推計値。半導体は輸出額。
 (出所) 経済産業省「エンタメ・クリエイティブ産業戦略2026」のデータをもとに、しんきん投信作成

図表4 コンテンツ産業の海外売上高目標と民間投資額

分野	海外売上高 (目標)			民間投資額		
	2024年	2033年	倍率	2024年	2033年	倍率
全体	6.1 兆円	20.0 兆円	3.3 倍	7.3 兆円	24.5 兆円	3.4 倍
ゲーム	3.4 兆円	12.0 兆円	3.5 倍	5.3 兆円	19.0 兆円	3.6 倍
アニメ	2.1 兆円	6.0 兆円	2.9 倍	0.9 兆円	2.4 兆円	2.7 倍
マンガ	0.3 兆円	1.0 兆円	3.3 倍	0.3 兆円	0.9 兆円	3.0 倍
音楽	0.1 兆円	0.7 兆円	7.0 倍	0.2 兆円	1.1 兆円	5.5 倍
実写	0.1 兆円	0.5 兆円	5.0 倍	0.6 兆円	1.0 兆円	1.7 倍

(注) 2033年は政府目標。投資額は上場企業の実績等を基に経済産業省が推計。倍率 = 2033年 ÷ 2024年。

(出所) 経済産業省「エンタメ・クリエイティブ産業戦略2026」のデータをもとに、しんきん投信作成

〈参考〉

「日本のアニメ・ゲームは自動車を超えられるか」

https://www.skam.co.jp/report_column/pdf/2347/kankyo_20260831.pdf



＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。

※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■ 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■ 投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 上限 0.3%

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。